

令和2年度 第1回 地域包括支援センター運営協議会

(朝日地区)

コロナ禍での業務について（自由記載）※運協委員に報告したいことなど

- ・県外に住む別居家族が定期的に帰省し、親の世話等しているケースについては、高齢者本人の不安が大きくなったり、生活の質が落ちたりすることがあった。間接的にそれが介護保険申請につながる場合もあったと思われる。
- ・県外の家族が帰省すると介護保険サービスの利用ができなくなり、大変だったとの声あり。

あさひ互近所ささえ～る隊活動報告について（自由記載）

- ・9月3日 三面地区出前講座（まちづくり協議会 10名、各集落区長と役員 14名）
三面地域のこれからを一緒に考えようと題し、人口減少・少子高齢の予測統計を交え、斉藤ささえ愛隊長からお話いただいた。
今後は三面まちづくり協議会と連携しながら、一般住民の自発的な取り組みを中心にした「住民同士の支え合い」の仕組みづくりのため、各集落単位で座談会を行っていく予定である。

（参考）11月6日 共助による移動支援実験（朝日地区にて試行的に実施）

- ・ささえ愛隊長とささえ～る隊による実行委員会主催
- ・社会福祉法人（村上岩船福祉会特養羽衣園・村上市社会福祉協議会）が所有する車両を活用し、市が開催する【転倒予防教室（愛ランドあさひ委託／会場 羽衣園）＋フレイル健康講話＋移動販売】に参加したい人を運転ボランティアさんが送迎を行う内容